

1. 平成 18 年度新春講演会・賀詞交換会

(平成 18 年 1 月 27 日 プラザ菜の花)

開 会 挨 拶

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



ただいま紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。本日の新春講演会、賀詞交換会の開会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

1 月も 27 日となり月末となってしまいましたが、皆様改めまして新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

本日はお忙しい中たくさんの会員の方にお集まりいただいております。またご来賓といたしまして、監督官庁である千葉県計量検定所から佐久間所長様、高石指導課長様、同じく指導課の木口様、行政機関より千葉県環境研究センター様、千葉市環境局環境調整課様、市川市環境保全課様、八千代市環境保全課様、関連団体として財団法人千葉県環境財団様よりご出席いただいております。また、当協会の歴代会長、顧問の方々にも出席いただいております。さらに、この後、千葉県環境生活部大気保全課の工藤様と久保田様、及びニチアス株式会社環境管理室の三輪様より大気汚染防止法の改正に関連した最新の行政情報とアスベストに関連した内容でのご講演をいただく予定となっております。本日ここにお集まりいただきました多数の方々に、協会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて新しい年となりましたが、昨年 2005 年を振り返ってみますと、J R 西日本での脱線事故をはじめ、耐震構造の偽装問題、アスベスト問題など国民の安全、安心、健康といった問題が改めて問われた 1 年であったと思われます。また、経済情勢については、株価が最高値を更新するなど景気の回復基調が続いておりますが、業界、業種による温度差、格差とともに同じ業界でもいわゆる勝ち組企業と負け組企業の二極化現象が進んでいるともいわれております。

一方私たちの環境計量分析業界に目を転じますと、本日ご講演いただく大気汚染防止法の改正による揮発性有機化合物（VOC）の排出規制が 4 月よりスタートする他、EU 諸国での電子材料中の有害物質の規制など、新しいアイテムが生まれてきておりますが、来年度以降には計量法の見直し・改正も予定されております。また昨年 11 月大阪の事業所で計量証明結果の捏造により特定計量証明事業の認定取り消しという重大な事案がありました。監督官庁からも私たちの業界へ再発防止の徹底について指導文書もいただいておりますが、当協会もこれを真摯に受け止め、同じ過ちを二度と起こさぬよう、計量法の枠組みだけでなく企業の社会的責任（CSR）や、コンプライアンス（法令順守）の問題についても、業界として積極的に取り組んでいきたいと考えております。

千葉県環境計量協会は本年 2006 年には創立 30 周年を迎えます。来る 7 月 14 日には千葉市内におきまして、永年お世話になっている方々をお招きして、記念式典の開催を計画しております。今後も協会活動への一層のご理解とご協力を改めてお願いする次第です。

最後に本日の新春講演会、賀詞交換会がここにお集まりいただいた皆様のお役に立ちますとともに、本年 2006 年が皆様方及び千葉県環境計量協会にとって、輝かしい 1 年となることを心より祈念いたしまして、簡単ですが年頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



— 来 賓 者 —

千葉県計量検定所
佐久間則夫所長様
高石安啓指導課長様
木口静主任主事様

千葉県環境研究センター
森山茂部長

千葉市環境局環境調整課
岩館昌美係長様
平松茂樹副主査様

市川市環境保全課
長沼明課長様

八千代市環境保全課
関和則様

財団法人千葉県環境財団
小見川健様

千葉県環境計量協会
岡崎成美顧問様

